

第1章 計画の改定にあたって

計画の背景

都市緑地法の規定に基づき、緑地の保全及び緑化の推進に関する内容を定め、生物多様性地域戦略の内容を内包する計画とし、上位・関連計画との整合や社会情勢及び法制度の変化などを踏まえ、計画を改定する

計画の位置づけ

「2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）」、「2030年の江戸川区（SDGsビジョン）」を上位計画とし、その他関連計画と連携

「ともに生きるまち」

「共生社会ビジョン」では、「ともに生きるまち」の未来を示しており、その実現に向けてSDGs17の目標達成を推進

計画期間

概ね10年間

みどりの役割・多面的な機能

都市環境改善、生物多様性保全、防災、都市景観や歴史文化形成、レクリエーションなど



第2章 本区の現状と課題

みどりのあゆみ 区民一人あたり樹木数10本・公園面積10㎡達成※1
葛西海浜公園がラムサール条約湿地として登録

みどり率※2 平成25(2013)年で31.1%
平成30(2018)年で30.8%

公園・緑地 公園整備数496箇所・777ha(海域含む)
(令和4(2022)年時点)

樹林 樹木数約690万本(令和4(2022)年時点)
保護樹は自宅の建替えや枯死などにより減少傾向

農地 生産緑地、宅地化農地ともに減少傾向

生き物 貴重な在来種が多い一方、外来種も見られる

民有地 住宅等整備基準条例などにより緑地を確保

区民・区取組 アダプト活動登録者は年々増加
ボランティアによる幅広い緑化活動がなされている

区民意識 「水辺・公園」、「緑化」に関する満足度は非常に高い
全体的に災害対策への要望が多い

みどりの課題

- ① みどりを守るためのさらなる取組
- ② 農地の保全と活用
- ③ 協働によるみどりの保全と創出
- ④ 身近な公園や水辺の整備
- ⑤ みどりによる防災ネットワークの形成
- ⑥ 社会情勢の変化への対応



第3章 基本方針と目標

みどりの将来像

水・みどり・農、ともに生きる豊かな暮らし
～ えどがわ ecological プラン ～

みどりの将来像が
実現した際のイメージ



水とみどりの将来構造



基本方針

基本方針1 みどりを守る

- ・大径木、街路樹、農地等の保全
- ・親水公園や親水緑道を守り活かす
- ・生物多様性を意識した「自然が豊かなまち」など

基本方針2 みどりを育む

- ・みどりや農を次世代に継承する
- ・学校教育との連携、ボランティア活動の推進
- ・情報発信による区民の意識を高める など

基本方針3 みどりを創る

- ・新たな公園の整備、農地と公園との一体的な活用
- ・オープンスペースの整備
- ・生き物の生息環境となる空間の確保
- ・災害から暮らしを守り、地球温暖化等の緩和につながる水とみどりのネットワーク化 など

みどりの目標と指標（目標値）

計画目標1 «ハード目標»
区民と協働でみどりづくりを推進する

- 区内のみどり率 (31%)
- 区民一人当たりの公園面積（陸域）(5.5㎡)
- 身近な公園の充足率 (97%)

計画目標2 «ソフト目標»
江戸川区らしい魅力あふれるみどりを実感できるまちづくりを推進する

- 「公園」「水辺」の整備に満足している区民の割合 (80%)
- アダプト活動加入者数 (12,300人)
- 「みんなのこうえん」の公園数 (16園)
- 生き物の棲家となるバイオネストを設置している公園数 (65園)
- 自然観察会や生き物調査などの年間参加者数 (2,000人)

第4章 みどりの施策

基本方針1 みどりを守る

方針	施策
(1) 貴重なみどりを守ります	① 大径木や樹林地の保全と活用 ② 樹木、樹林地所有者への支援
(2) 農を守り活用します	① 農地の保全と活用 ② 営農への支援 ③ 農とのふれあいの機会の充実
(3) 水の恵みを守り活かします	① 水辺における自然、生態系の保全 ② 水環境の保全

基本方針2 みどりを育む

(4) みどりの運動を広げます	① ボランティアの発掘と育成 ② みどりの活動の支援
(5) みどりの意識を高めます	① みどりを育む大切さの普及啓発 ② 学校教育との連携 ③ 福祉の連携 ④ 生物多様性に関する普及啓発
(6) 循環型社会の形成に向けた取組を広げます	① SDGsとの連携 ② リサイクルの促進

基本方針3 みどりを創る

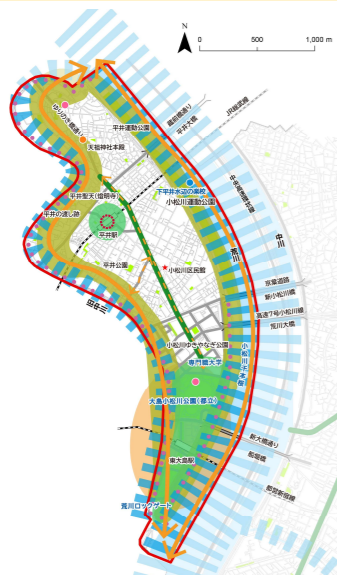
(7) 身近な公園を充実させます	① 歩いて行ける公園の充実 ② 既存公園のリフレッシュ
(8) 拠点となる公園を整備します	① 地域の拠点となる公園・特色ある公園の整備 ② 都立公園の整備
(9) 災害から暮らしを守るまちづくりをします	① 水とみどりを活用した防災まちづくり
(10) 公共用地や民有地の緑化を進めます	① 公共用地の緑化推進 ② 民有地の緑化推進
(11) みどりのつながりを広げます	① 水とみどりのネットワーク形成、ヒートアイランド対策の推進
(12) みどり豊かな水辺を創ります	① 河川景観の向上 ② 水辺利用の促進



※1 公園面積は海域（葛西海浜公園）を含む ※2 特定区域の面積に対して樹林地、草地、宅地内の緑、公園、街路樹、河川、水路等が占める面積の割合

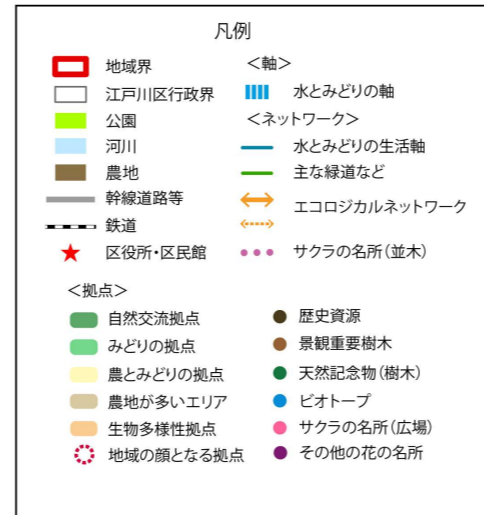
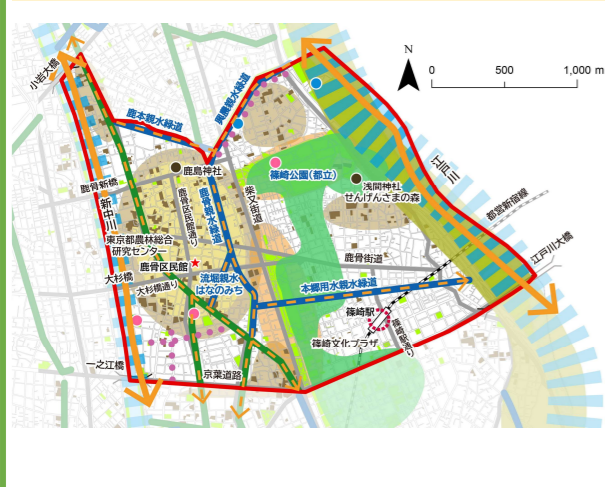
第5章 地域別計画

小松川・平井地域		中央地域		葛西地域（北部）		葛西地域（南部）		小岩地域	
魅力	課題	魅力	課題	魅力	課題	魅力	課題	魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> 豊かな水辺とみどり スポーツ・レクリエーション 魅力ある歴史資源 	<ul style="list-style-type: none"> 都市基盤整備、防災への配慮 多様な生物種の保全 	<ul style="list-style-type: none"> うらおいある親水公園 生物多様性拠点 地域コミュニティ 	<ul style="list-style-type: none"> 河川における親水空間の整備・拡充 防災性向上に資する新たなみどり空間の確保 農地の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸情緒ある河川空間 水とみどりに親しめる空間 多様な機能を持つ宇喜田公園・行船公園 船着場前周辺地区のまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史資源の活用 多様な水・みどり空間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーション空間 みどり豊かな空間 豊かな生物多様性 	<ul style="list-style-type: none"> 都市基盤整備、防災への配慮 老朽化した大規模公園の更新 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史資源の点在 江戸川河川敷のみどりと生物多様性 花を通じたにぎわい・交流拠点の形成 JR小岩駅周辺地区のまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 身辺公園の確保 農地の保全
新日のまちを大川川に咲く桜が繋ぐ水辺豊かなまち		親水公園のせせらぎと地域活力にあふれたまち		江戸情緒あふれる河川の歴史・文化に新たな拠点が融合するまち		海をのぞみ、豊かな水・みどり・生物多様性が広がるまち		遺跡が眠る古い歴史と新たなまちづくりにみどりが融合するまち	
<ul style="list-style-type: none"> ◆良好な都市基盤を活かした水とみどりのネットワーク拡充 ◆公園の有効活用 ◆河川や公園を活用した生物多様性の保全 ◆豊かな水辺空間を活かした環境づくり 		<ul style="list-style-type: none"> ◆親水公園を軸としたみどりのまちづくり・生態系の保全 ◆点在する農地の保全・活用 ◆幹線道路を活用したエコロジカルネットワークの形成 ◆密集住宅市街地整備促進事業などのまちづくりに合わせた新たなみどりの創出 ◆集積する文化施設を活用した歴史やみどりの情報発信 		<ul style="list-style-type: none"> ◆水とみどり、歴史を活かした環境づくり ◆良好な都市基盤を活かした水とみどりのネットワークの拡充 ◆水辺空間の利活用促進 ◆公園不足地域の解消、公園機能の充実 ◆大規模公園の整備促進 		<ul style="list-style-type: none"> ◆総合レクリエーション公園や葛西臨海公園・葛西海浜公園など、地域の顔となる公園を活用したみどり機能の拡充 ◆豊かな自然環境を活かした生態系の保全とエコロジカルネットワークの形成 ◆親水緑道を活用した環境づくり ◆大規模な公園を活用した防災機能の強化 		<ul style="list-style-type: none"> ◆河川空間を活用したみどり機能の拡充 及び生物多様性の保全 ◆小岩駅・京成小岩駅周辺地区などのまちづくりに合わせた新たなみどりの創出 ◆公園、親水緑道、歴史資源を活用した環境づくり ◆点在する農地の保全・活用 	



鹿骨地域		東部地域	
魅力	課題	魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> 市内でも貴重な農の空間 歴史資源の点在 親水緑道、公園、河川敷 	<ul style="list-style-type: none"> 農地の保全 安全性の確保とみどりの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 豊富なみどり・公園と生物多様性 歴史資源の点在 スポーツ・レクリエーション 	<ul style="list-style-type: none"> 都市基盤整備、防災への配慮 農地の保全

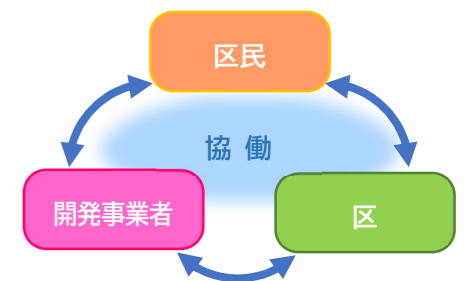
農の風景を継承し、みどりが住環境と調和するまち	豊かな水とみどりがうらおう、スポーツとレクリエーションのまち
<ul style="list-style-type: none"> ◆農の風景の保全・育成 ◆豊かな水辺空間を活かした生物多様性の保全 ◆大規模公園の整備促進 ◆都市計画道路事業や区画整理事業に合わせた新たなみどりの創出 	<ul style="list-style-type: none"> ◆公園、親水緑道、歴史資源を活用した環境づくり ◆河川空間を活用したみどり機能の充実及び生物多様性の保全 ◆まちづくりに合わせた新たなみどりの創出 ◆点在する農地の保全・活用



第6章 計画の実現に向けて

基本的な考え方

- 多様性を大切にします
- みんなで力を合わせます
- 環境を守り育みます
- 将来世代への思いやりの心を持ち続けます
- 区民・開発事業者・区による協働体制



計画の進行管理

- ・計画 (Plan)、実行 (Do)、評価 (Check)、改善 (Action) のサイクルで進行管理
- ・実施施策の進捗状況については随時点検、必要に応じて見直し

